

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ふるさと	代表者	北島 淳朗	法人・事業所 の特徴	佐世保港を一望する丘に立つ「小規模多機能ホームふるさと」は、併設施設にグループホームやサービス付き高齢者向け住宅があり、これまで自宅での不安や困っていたことを解消できる事業所です。ゆとりある空間では、レクリエーションや季節ごとの様々な行事はもちろん、思い思いにゆったりと自分の時間をお過ごしいただけます。
事業所名	小規模多機能ホームふるさと	管理者	辻純子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	人	人	5人	人	10人

項目	前回の改善計画（目標）	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画（目標）
A 事業所自己評価の確認	自己評価の内容を職員一人一人が意識して業務に携わっていく	自己評価の内容について職員一人一人に説明し、内容を理解し意識しながら業務に携わっていくことができるように、意見交換の場をもうけたり研修を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価は皆さんしっかり評価されているな、という印象を受けております。また、それぞれ出来ている点の中でも、また改善点を見つけて取り組んでいこうという思いが伝わってきました。大変に適切な内容ではないかなと思います。（西海市社協）</li> <li>色々な角度からのチェック項目、全体的に高評価で良くできていると思います。スタッフの皆様、日常それぞれの業務の中で良く理解し実践されての結果だと思えます。（地域代表）</li> </ul>	引き続き、自己評価の内容を職員一人一人が意識して業務に携わっていく
B 事業所のしつらえ・環境	引き続き、利用者懇談会やアンケートからご利用者の意見を反映し、より居心地の良い空間づくりに努めていきたい。	ご利用者と一緒に心地よい空間を作り上げることが出来るように、利用者懇談会やアンケート、個別面談を実施した際に、具体的な意見や思いをおたずねし、出来る限り反映できるように努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際入ってみてどのような状況か確認できればいいが、今の状況・時期だと難しく、感覚で多分できていると判断しました。（ご利用者家族）</li> <li>⇒感染流行期では出入りをして頂くのが難しいので、その辺は今後も柔軟に対応していけたらと思っております。ただ、居室に関してはサービス付き高齢者住宅の部分になり、この評価に関しては「小規模多機能型居宅介護」についてですので、事業所のしつらえについては小規模多機能型居宅介護事業所の範囲が対象になります。（事業所）</li> </ul>	施設の老朽化に伴う対策をとりながら、より居心地の良い空間づくりに努めていきたい。
C 事業所と地域のかかわり	ここ数年自粛されていた地域でのイベントや交流を企画し積極的に開催していきたい。	地域住民を招待した「スプリングマルシェ」の開催やご利用者の出身地域の音楽活動グループの方を招いて演奏会の企画やリモートコンサートやリモートで全国の名所めぐりを体験できる企画を実施することが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>この地域のイベントというところでは、毎回、運営推進会議で写真を見せて頂いて、利用者の皆様の笑顔を見て、私たちはすごく楽しく過ごされているのだな、と、イベントも交流も楽しまれているなというのは、本当に写真で分かります。また『利用者アンケート』では、こちらへの入居をロコミで検討されたという意見も多かったので、その辺りも地域の方にも知られていて、とても良い事だなと思えました。（長寿介護課）</li> </ul>	事業所の活動内容をもっと地域の方に知って頂ける様に SNS などを利用して広報活動に努めていきたい。

D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	状況に応じてリモート会議を活用しながら、積極的に地域や行政主催の会議に参加していきたい。	地域や行政が主催する会議や研修会に前年度より多く出席することが出来た。また、状況に応じてリモートでの会議・研修に参加する事も出来た。	・コロナが明けて、だいぶ地域のイベントや行事が出来てきております。色々と季節の行事に参加している中で、ふるさとさんからもご利用者を職員の方が連れて来られている光景をよく見かけます。ご利用者としても楽しみにされているだろうと思い、こちらも嬉しくなるような事です。今後とも機会があれば実行して頂きたいと思いますので、よろしくお願いします。(地域代表)	積極的に地域行事に参加する機会を設けていきたい。
E 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の場を活用した地域の情報共有や活発な意見交換ができるような会議運営・進行に努めていく。	委員の皆様は積極的に参加頂き、西海市長寿介護課と西海市社会福祉協議会の方々は毎回ご参加いただいた。会議を介して行政や事業所・地域とつながり「相談し合う関係」を構築することができた。	・これまでのチェック表を見させてもらって、職員さんの大変さがものすごく分かります。私も、老人ホームを地域の子供たちに見せたいと考えて計画をしていましたが、あいにく台風で中止になりました。このような施設はこういう事を行っているのだ、などという事を今の子供達に教えて、地域の高齢の方も気楽に見に来られるようにしたい。来年こそは、気候の良い時に子供達を連れて来られるように計画したいと思っています。その時はよろしくお願い致します。(地域代表)	運営推進会議の場を活用し活発な意見交換や情報共有に努めていきたい。
F 事業所の防災・災害対策	防災・災害と感染症対策に防犯対策を加え、社会情勢や介護保険制度の動向と合わせて、法人独自の基準に基づきしっかりと対応していく。	感染症対策や防災対策、防犯対策については、定期的に訓練やマニュアルの検証を実施し、訓練実施後は振り返りや見直しを行い、職員一人一人が精度を高めていけるように努めた。	・前回の会議は防災訓練という事で、私も参加させていただきました。足元の不安定なご利用者を連れ出して避難させるのも大変だなと、よくやっているなど感心しながら見ておりました。また頑張ってください。(地域代表)	定期的に計画・訓練の見直しを行いながら防災・災害・防犯に対する職員の意識を高めていきたい。